

2015 1月

OIT Website
<http://www.oit.ac.jp>

ひとことメッセージ

講義や講演で使った資料をウェブに公開することが、次の講演依頼につながっている。これも一種の自己PR。情報に振り回されるのではなく、発信者として積極的に関わろう。

情報科学部 情報システム学科 教授
真貝 寿明 (専攻:理論物理学)



硬式野球部I部昇格!!



CONTENTS

学園祭報告

②

淀川クリーンキャンペーン

④

MIC 2014を開催

⑤

学長表彰

工学部長表彰、情報科学部長表彰、知的財産研究科長表彰・学部長表彰

⑥

硬式野球部I部昇格

⑦

学内献血を実施

⑧

城北祭

大宮
キャンパス

SHIROKITA FESTIVAL

10.24(金) 25(土) 26(日)



城北祭2014写真集

ステージイベントや教室展示など、工夫を凝らしたさまざまなイベントが行われました。



OCF軽音楽部によるライブ



激戦を繰り広げた相撲大会



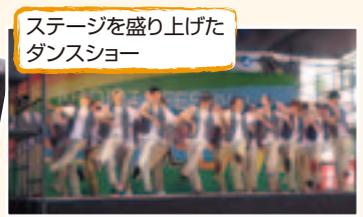
学生プロジェクトによる展示発表



演武祭で渾身の演武



開祭式の様子



ステージを盛り上げたダンスショー



1000ピースプロジェクトとのコラボ企画「千林ほんわかヨガ」



明るく鮮やかなファッションショー



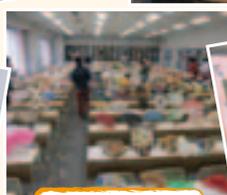
子どもに大人気だった鉄道研究部体験コーナー



真剣勝負の球技大会



子どもが興味津々。工学祭の体験コーナー



今年も輝いた「KAMI扇子展」



工夫を凝らした教室展示

今年度の第66回城北祭では、14,500人という過去最大の来場者数となりました。ご来場いただきました皆様方、本当にありがとうございました。

さて、今年は「JOY JOY JOINT !」というテーマのもと、1年間企画・運営を行ってまいりました。このテーマには、城北祭に協力していただいた多くの団体、企業の皆様、運営側だけでなく来て下さった来場者の皆様にも協力していただき、楽しんでいただけるようにしたいという意味が込められ、期間中には大人から子供までたくさんの人が集まり、城北祭を完成することができました。無事に開催できたのも、ご指導いただいた教職員の方々、他団体、各クラブの皆様、なにより城北祭実行委員会のメンバー、その他多くの皆様のおかげです。ありがとうございました。

来年度は、さらに盛大な城北祭になるよう努力していきますので、来年度の城北祭もよろしくお願いたします。



第66代城北祭実行委員会 委員長 田島友(M3)



元気いっぱいのウインドアンサンブル



閉祭式での表彰授与

ここに掲載しているほかにもお化け屋敷やスマブラ大会、声優トークショー、フリーマーケット、教室展示発表、模擬店など、城北祭を盛り上げるイベントがたくさん行われました。一つひとつのイベントは、学生たちの日々の活動成果をアピールする場となり、来場者を楽しませました。来年の城北祭も来場者に存分楽しんでいただけたらと思いますので、ぜひキャンパスを訪れて城北祭を満喫してください!

2014年度大宮キャンパス学園祭 教室展示各賞審査結果

学術研究部門 (優秀な展示を行った団体)

学 長 賞	文化会 空間デザイン研究部
工 学 部 長 賞	文化会 建築文化研究部
知的財産学部長賞	文化会 応用化学研究部
後 援 会 会 長 賞	文化会 土木文化研究部

※後援会会長賞は後援会役員・委員の採点による

芸術系部門 (優秀な展示を行った団体・個人)

学 長 賞	文化会 鉄道研究部
学 生 部 長 賞	文化会 写真研究部
文化会会長賞	文化会 写真研究部 前迫 研吾(C3)
後 援 会 会 長 賞	文化会 写真研究部 川口 雄大(P2)

模擬店部門

城北祭実行委員長賞
土木文化研究部
(回転焼)

※来場者からの人気投票による

体育会本部主催行事(球技大会)

優 勝	かたごJAPAN
準 優 勝	岡田翼
3 位	たいそう

体育会本部主催行事(相撲大会)

重量級優勝	山根 翔輝(K1)	中量級優勝	北脇 拓朗(C4)	軽量級優勝	村上 諒(U1)
重量級準優勝	藤野 稜太(C3)	中量級準優勝	西村 直輝(E1)	軽量級準優勝	大石 航平(A4)
重量級3位	名田 健汰(A3)	中量級3位	渡邊 隆一(V2)	軽量級3位	細田 裕輔(C4)



北山祭

11月祝
枚方
キャンパス
KITAYAMA FESTIVAL



北山祭2014写真集

1万人の来場者を魅了した各種イベント

第18回北山祭は、学生・教職員・来場者の皆様のご協力のもと、テーマである「輝彩(きさい)」のとおり、過去最高の来場者数となる1万人もの皆さんの輝きによって色鮮やかに彩られた素敵なお祭りとなりました。

恒例の巨大フリーマーケット、模擬店、クラブイベント等では大盛り上がりを見せ、また、今年度から初めての試みである仮面ライダー鎧武/ガイムショーでは、子どもたちの声援でエキサイティングに。そして、吉本お笑いライブでは、笑い飯、銀シャリ、ガリガリガリクソンだけでなく、毎日放送の番組である「ごぶごぶ」とコラボし、ダウンタウン浜田さん、ロンドンブーツ1号2号田村淳さん、ライセンスがサプライズでステージに登場すると、会場は最高潮の盛り上がりとなり、大成功のうちに閉祭しました。



ジャズバンドパフォーマンスにきげつけ



秋晴れの下爽やかな演奏が響きました♪



吉本お笑いライブ! 最高潮の盛り上がり!



熱狂の軽音ライブ会場

キャンパス内にはたくさんの笑顔が満ち溢れました



フリーマーケット! 今年はどんなお宝が見つかりましたか?



仮面ライダー鎧武頑張り〜!



今年、なんと約1万人もの方々にご来場いただきました。当初11月3日の天気予報は雨でしたが、本番当日は会場にいる皆さんの輝く笑顔が、雨雲をはねのけ快晴となり、テーマである「輝彩(きさい)」のとおり、美しい彩りを添えた北山祭となりました。

北山祭を開催するにあたり、この1年の間は大変なことばかりでしたが、ご来場の皆さんには心から楽しんでいただき、閉祭を迎えたときには、目頭が熱くなり、言葉にならない達成感に満ち溢れていました。

北山祭にご来場、またご支援、ご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。来年は更にボリュームアップした北山祭を目指しますので、お楽しみに。



第18代北山祭実行委員会 委員長 大川冴 (IN2)



子どもたちも夢中のOh!ITカーニバル

イノベーション大賞を受賞した「図形情報処理研究室」カップ麺1年分をGET!



子どもも大人も夢中になったOh!ITカーニバル

「Oh!ITカーニバル」では、情報科学部の研究室やプロジェクト活動など41のブースが一堂に会し、来場者の皆さんに最新の研究成果や情報技術を体験していただきました。

小学生から高校生までを対象としたスタンプラリーも実施し、Oh!ITカーニバル会場は子どもから大人までのたくさんの来場者で大賑わいとなりました。また、企業様からは、各ブースの発表技術が年々向上しており、今年度は特に技術が高かったとの評価もいただき、充実の研究室発表となりました。

そして、教員や後援会役員、枚方地域産業クラスター研究会の審査を経て、優秀な研究発表を行った研究室は閉祭式で表彰されました。受賞した研究室は右のとおりです。

2014年度各賞受賞結果

学 長 賞	三次元画像処理研究室(西尾准教授)
学 部 長 賞	並列処理研究室(水谷講師)
後援会会長賞	計測とシミュレーション物理研究室(藤井教授)
イノベーション大賞	図形情報処理研究室(小堀教授)

～みんなで淀川を守ろう!～ 淀川クリーンキャンペーン実施

10月18日、本学は大阪市旭区などと連携して「淀川クリーンキャンペーン」を実施しました。今回で開催9年目を迎えるこの取り組みは、「地域みんなで淀川・城北ワンドの環境をまもろう」をテーマに毎年開催しているもので、学生や教職員、地域住民など約800人が参加し、菅原城北大橋を中心に赤川鉄橋から河川敷グラウンド付近までの範囲を約1時間にわたって清掃しました。

キャンパスのそばを流れる淀川は本学の環境教育実践の場であり、隣接する城北ワンドは貴重な在来種である天然記念物のイタセンバラなどの貴重な生態系を守り育む場所です。旭区の素晴らしい自然環境を守るため、今後も地域と連携した取り組みを推進していきたいと思えます。



たくさんの方にご参加いただきました

留学生が近隣小学校を訪問しました

本学の外国人留学生が組織する留学生友好会が10月23日に地元旭区の大宮西小学校の1年生、5年生の児童たちと交流しました。参加者は中国・サウジアラビア・インドネシア・モンゴル・タイ・タジキスタン出身の8名の留学生で、同小学校の講堂を訪問すると最初は1年生の児童たちに出迎られました。留学生からの自己紹介や「じゃんけんゲーム」の後、留学生8グループに分かれて母国のいろいろな話を子供たちに聞かせていました。インドネシア留学生のタヌ ベルナルド君(R4)は、母国の地図や町の写真で自分の住んでいる町の名前の由来や食文化を説明するなど、創意工夫をして子供たちの興味をひいていました。

休憩時間をはさんで、今度は5年生の児童たちと留学生8グループに分かれて、母国での食事や日本への関心などについて、児童か

らのさまざまな質問に答えました。モンゴル留学生のバザルハンド エルムーン君(M4)は、母国の正装でタブレット端末を使って母国の草原や住居などの画像を見せて説明していました。



地図や写真などで説明するベルナルド君(R4)

子供たちは自分のノートに留学生たちの母国語で名前を書いてもらって留学生と打ち解けあい、留学生たちも無邪気な笑顔に癒されたようで、彼らにとっても日本の子供たちと交流する良い機会となりました。



エルムーン君(M4)の話に興味津々の様子

カウンセラーのひとり言 「身体からだ。」

カウンセラー 山本 有恵

カウンセラーと言えば「心」のこと。なのですが、実は心を調えるのに何より大切なものの一つが「身体(からだ)」です。体調が悪いと鬱っぽくなったり、不安でお腹が痛くなったりすると、心と身体の密接なつながりを感じます。

身体を調える基礎は食事と睡眠。カウンセラーはソファに座ってじっくり人の話を聴く仕事なので、長い集中を要します。睡眠不足は眠気に即つながってしまうので、日常的に質の良い睡眠をしっかりとることを心がけています。食事では、朝ごはんを必ず摂ること。腹持ちが良く血糖値の変化が穏やかな米飯を摂れたら身体が

ラクで、そのぶん心の調子も良い気がします。胃腸の不調やビタミン不足はイライラのもとなので、食べ過ぎや偏食に気を付けつつ、日々の食事を楽しんでいます。

実は大学生の頃は一人暮らしで、夜更かしもいけばげんな食事もたくさんしていました。しかし人の心に向き合う仕事をするなかで「睡眠と食事が自分の身体をつくり、心を調える」と実感し、実行するようになりました。食事や睡眠から身体と向き合うことも、心と向き合うこと。今年は身体から「心を満たす」ことを意識して楽しんでみてはいかがでしょうか？

心理学アラカルト 「ほどよくリラックス、よい一年を!」

カウンセラー 山下 彩

新年、明けましておめでとうございます。

この季節、こたつにこもりがちになります。就職活動、卒業研究とストレスもたまりやすい時期。体が縮こまると、気持ちも縮こまります。私が面接の中で使っている簡単なリラックス法があります。短時間で出来るので、作業の合間にでも試してみませんか？

その①呼吸をゆっくり:口を小さめに開けて、10秒数えてゆっくりと息を吐く(前傾姿勢)→3秒吸う(体を起こす)→2秒息を止める→10秒息を吐く。これを5回くらい繰り返す。

その②筋肉を緩めて血の流れを促す:椅子に浅く座り手首足首を

立てる→全身にぐっと力を入れる→10秒キープ→すとん、と力を抜きしばらく脱力。寝る前ならそのままゆったりと。まだやる事があるなら腕を曲げ伸ばして力を入れ直す。

ストレスは、多すぎても少なすぎても良くないもの。程よい張り合いや責任感は人間にとって必要です。が、普段でできることが滞ったり、楽しいことを楽しめなかったりしたら、ストレス過剰のサインかもしれません。今の自分はどうかな?と、時々心身に問いかけてみてください。

ちょうどいい自分、で365日過ごせるといいですね。



「MIC 2014」開催!

12月6日、「MIC 2014」が大宮キャンパスで開催されました。MICとは“Mock International Conference”（模擬国際会議）の略で、「国際学会において英語でプレゼンテーションを行う訓練」と「英語が使えるスタッフの育成」のため実施されたもので、工学部総合人間学系教室英語研究室がLLCと協同で企画したものです。今年で3回目を迎えるこのMICは、回を重ねるごとに参加学生・教職員が増えており、今年は114名の参加がありました。

プレゼンテーションとポスターセッション

の2部門が開設された今回の会議では、大学院生が日ごろの研究について発表しました。また、工大唯一の学生企業「探作広場-SHOW-」やE.S.S.に所属する学部生が、受付や司会などの運営役にあたりました。発表や質疑応答はもちろん、受付や挨拶・進行もすべて英語で行われ、会場にはさながら実際の

国際会議のムードが漂っていました。発表した学生は「実際の学会を前に、緊張感や雰囲気がかめました。」と感想を語っていました。



英語でプレゼンテーション・・・緊張感が伝わります!

草津の街を幻想的に演出 -草津市のイベントにW科学生チームが出展-

11月7～8日に滋賀県草津市で開催されたイベント「草津 街あかり 華あかり 夢あかり」に、本学工学部空間デザイン学科の学生有志チーム「かさや」が出展しました。このイベントは、江戸時代に中山道、東海道の結節点として栄えた宿場町である草津の旧街道やお寺、広場を様々な手作りのあかりで照らすもので、本学チームは関西の学生達が出展する「あかりART展」に出展しました。

本学チームは1年生から3年生の16人で、コピー用紙と竹ひごを材料に約100個の「傘」のキャンドルアートを作成。会場となった光明寺の境内に散りばめた色とりどりの「傘」に火が灯されると、傘から溢れるやさしい光で暖かい気持ちになれる空間を演出しました。



会場に散りばめられたアート作品

リーダーの阿部光太郎君（W3）は「大切な人のために傘をもっていきような何気ない愛情や、人や街の成長を表現しました。来場者など多くの人の感性に触れることができ、

よい刺激になりました」と空間演出のやりがいを語ってくれました。意欲的に活動する学生達の今後の活躍が期待されます。



W科学生有志チーム「かさや」

知的財産研究科夏期集中講義を実施

9月1日から5日までの5日間にわたり、知的財産専門職大学院の恒例行事である夏期集中講義を開催しました。この講義は、大学院の正規科目として米国の特許法や国際ライセンス実務等を学ぶものです。実務経験豊富な弁護士を含む講師を内外から招請し、すべて英語による講義を行いました。今年度の受講者は70人以上に達し、これまでの最高記録となる大盛況でした。本学の院生に加えて台湾の提携大学の大学院生、アジア諸国の弁

護士、メキシコからのJICA研究員、日本の特許事務所の弁理士の方々など、受講者はさまざまでした。最終日には参加各大学の院生による英語プレゼンテーション大会が開催され、本学専門職大学院のチームが参加10チームの中で見事に最優秀の栄冠を勝ち取ることができました。この夏期集中講義は今年で6年目を迎えますが、アジア諸国においてグローバル化にマッチした本学の特長ある講義として知られるようになっていきます。



本学教員と受講者で記念撮影

「ウィンターイルミフェスタ」で学生たちもキャンパスもキラキラ

12月から枚方キャンパスで「ウィンターイルミフェスタ」が始まりました。これは北山祭実行委員会が企画したもので、1号館エントランスの大クリスマスツリーを中心に、組み込みソフトを使用した各種イルミネーションを配して、2階までの吹き抜け全域が幻想的なロマンチック空間となりました。また、実行委員会手作りの雪だるまなどの各種オブジェや、きれいな装飾も添えられ、いっそう豪華なものに仕上がりました。

12月12日の点灯式には、ウィンドアンサンブルの部員が、「アナと雪の女王」主題歌"Let it go"を演奏。会場に集まった学生が声を合わせてイルミネーションを灯すと、大きな歓声に包まれました。このイルミネーションは1月の授業終了まで続きます。外は寒い北風が吹いていますが、イルミネーションの輝きとともに、情報科学部学生の気分もウキウキと輝いていくことでしょう。



点灯式でのウィンドアンサンブルによる演奏



硬式野球部がI部に振り返り咲き!!

体育会硬式野球部が10月21日～24日に行われた近畿学生秋季リーグのI部・II部入替戦(VS神戸大学)を2勝1敗で制し、4季ぶりとなるI部復帰を成し遂げた。

1戦目は、序盤は大工大が試合の主導権を握り、3回まで毎回チャンスを作るが、得点に至らない試合展開が続く中、エース山下(P3)が4回まで相手打線を封じ無失点の好投。しかし、神戸大が意地を見せ、5回、7回にそれぞれ1点ずつ得点する。反撃したい大工大は8回に1点を返し、最終回も後一打のところまでチャンスを作るが、反撃も及ばず1戦目を落とした。

2戦目は、後がない大工大は初回に2点を先制される。2回裏、大工大の打線がつながり、この回3点を返し逆転する。このまま逃げ切りたいた工大だったが5回、神戸大の打線につかまり同点とされる。その後、こう着状態が続き、8回裏、大工大が貴重な勝ち越し点を奪う。最終回、渡邊(P3)が最後のバッターを三振で打ち取り勝利した。

1勝1敗で迎えた運命の3戦目は、息の詰まる投手戦となる。先発を任されたエース山下(P3)は見事なピッチングで8回まで零封。一方、野手陣は毎回チャンスを作るものの後が続かず、両チームともスコアボードに0を並べる。両者譲らず、迎えた大工大9回表の攻撃、先頭の4番内田(IS3)が左中間に2ベースヒットを打ち出すと、続く5番中原(U3)がきっちり送りバントを成功させ、1アウト3塁とし、ここで代打の上田(P1)が右中間に2ベースヒットを打ち、待望の先制点を得る。9回裏に今季守護神に成長した渡邊(P3)にスイッチ。最後のバツ



I部での活躍を誓う選手一同

ターを併殺打に打ち取りゲームセット。通算成績を2勝1敗とした大工大のI部昇格が決まった。

今年度より新体制に変わった硬式野球部がまず行ったことがチーム全体の意識改革である。体育会のクラブである以上、「勝ちにこだわる」ために日々の練習メニューから見直した。ただ漫然と日々の練習をこなすだけでなく「昨日より今日、今日より明日」をスローガンに今年度より運営を開始した枚方キャンパスOITスタジアムをメイン練習場として厳しい練習に打ち込んだ。

彼らにとって一部昇格はあくまで通過点。大学野球の聖地、神宮大会出場を目指す硬式野球部の躍進はまだまだ止まらない。

I部昇格にあたって

これまでの野球人生で培ってきた自信とこれからの主将としての責任や不安を感じながら今年の夏、主将に就任し、4季ぶりのI部リーグへの復帰を果たすことができました。日頃より熱心なご支援、ご指導いただいている監督や大学関係者の方々、そして私たちを励まし、見守ってくださる保護者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

私たち硬式野球部は、今年度に完成したOITスタジアムでチーム一丸となって日々の練習に励んでいます。指導者も夏から新体制となり、クラブ全体の意識改革に取り組み、一つひとつのプレーに責任を持ち、常に全力でプレーすることを心掛け、一戦一戦に懸ける気持ちを高めました。また、今までの練習メニューの見直しを行い、短時間で質の高い練習を取り入れ、一人ひとりがチームのために意見を出し合える空気作りにも力を注ぎました。その成果が、入替戦で逆境に立たされた際に活かされたと感じています。

私たち硬式野球部の次の目標は、I部リーグ優勝、そして神宮大会出場です。大阪工業大学硬式野球部の歴史に残るチームを作り上げるために部員一同、努力していきます。



主将 星野佑太(P3)

学園3大学の文化の祭典実施

2014年11月22日～23日に本学大宮キャンパスにて「常翔学園3大学文化会課外活動団体交流会」を開催しました。今年は総勢60団体251名(大阪工業大学30団体、摂南大学20団体、広島国際大学10団体)が参加し、演奏・発表会には一般学生や地域住民からも約90名の来場がありました。

初日には開会式および懇親会を行い、3大学の学生が互いの活動を情報共有するなど、積極的に交流を深める姿が見られました。2日目はOITホールにて演奏会や発表会を行い、ジャズやバンド、吹

奏楽、アカペラなど、様々な音楽ジャンルを通じて会場を盛り上げました。また、ジャグリングやルービックキューブによるパフォーマンスも披露され、音楽とは一味違った演技で観客を魅了しました。芸術系団体は絵や写真などの作品をロビーに展示するなど3大学の学生それぞれが日頃の活動で培ったレベルの高いパフォーマンスを繰り広げ、日頃の活動成果をアピールする良い機会となりました。

今後も学園3大学間で互いに高め合う関係を築いていけるよう交流行事を実施予定です。



学園3大学で協力し大盛況に

文化会本部が「安全講習会」を実施しました

11月1日、8日、15日の3日間にわたり、文化会本部が「安全講習会」を大宮キャンパスで実施しました。これは、文化系クラブに所属するクラブ員を対象に文化会本部が毎年行っているもので、今年は大阪市旭消防署と大阪市消防振興協会の協力のもと、約40名の学生が胸骨圧迫の実技訓練などについて、90分の救命入門講習を受けました。

講習会で参加学生はまず心停止や心室細動などの用語の意味、心停止の見分け方につい

て説明を受けたうえで、模型を使って人工呼吸と胸骨圧迫の練習を行いました。その後、AEDの使用法と使用する際の注意点を学び、講師の指導のもと実技訓練をこなしました。また、講義では、脳へのダメージを軽減することで、生存率と社会復帰の確率が上がることを学び、救急車が到着するまでの胸骨圧迫とAED使用の重要性について認識を深めました。

参加した学生には当日消防署発行の「救命入門コース参加証」が交付されました。



安全講習会の様子

第2回学内献血を実施

体育会本部主催による学内献血が12月4日に大宮キャンパス東中庭で行われました。大宮キャンパスでは日本赤十字社の協力とライオンズクラブの協賛を得て、毎年2回の学内献血を行っており、本学は長年の功績を認められ、日本赤十字社から「献血功労団体」としての感謝状が贈られた実績を持っています。

その励みもあり、体育会本部が主催団体として小雨降る寒空の下で今年も献血の実施に熱心に尽力しました。協力者には、各クラブ員や一般学生の他に教職員の方々も数多く協力していただきました。

学内献血は、工大の恒例行事となるようにこれからも続けていきます。学生の皆さんも献血実施の時にはご協力をお願いします。



たくさんの学生に協力していただきました

「みなさんの体作りのために」 ～3種類のメニューを250円で提供!!～

大宮キャンパス中央食堂2階では新たな取り組みとして3種類のメニューを250円で提供しています。また、毎月19日には「食育の日」とし朝定食を100円で提供しています。

いま、朝ごはんだけでなく昼ごはんを食べない人もいますが、食生活は健康づくりの基本です。成長ざかりのみなさんの体作りのため、安心・安全な食材を使用し、もっと気軽にもっと身近な食食を目指して取り組んでいきます。

「この食堂があるから、この学校に来てよかった!」と少しでも多くの方に思っていたらいいように、今後も美味しいメニューや楽しいイベントを随時提案していきますので、ぜひご期待ください。



250円メニュー、ぜひお試しください!



チキン南蛮定食



ユーランチから揚げ定食(第2弾)



焼きうどん

学生による授業アンケート

あなたは授業アンケートに回答したことがありますか?

授業アンケートは、学生が「授業改善」に参画できる唯一の機会であり、皆さんにとって「魅力的な授業」を実現するためのものです。直接教員には言いづらい要望や意見を、授業アンケートによって伝えることが可能です。

学生からの意見によって、授業の運営が改善されたケースが数多くあります。授業アンケートは毎年、前・後期にそれぞれ1回実施しますので、必ず意見を寄せてください。

2014年度前期の授業アンケート結果

学生回答率

68.7%

一例として、実際に寄せられた意見、教員のコメントを紹介します。

学生コメント	<ul style="list-style-type: none"> ■黒板で黄色の文字が薄くて見えにくい事が多かった。 ■電気を消すと黒板が見えにくくなり、電気をつけるとスクリーンが見えにくくなるので、どちらか一方だけにしてもらえばいいかなと思った。 ■プロジェクターを使って説明されている時に普通のモニターを指されても文字が小さくて見えないので、プロジェクターだけを指すようにして説明してほしい。
--------	---



教員コメント	<p>「黄色のチョークが見にくい」という指摘が他の科目でもありましたので、後期の「〇〇学」では留意します(使わざるを得ない場合があることをあらかじめ断っておきます)。また、書画カメラの使い方、ならびに、黒板灯のON/OFFについての指摘も後期には留意します。</p>
--------	---

以上のように授業アンケートを通して授業は改善されます。どうぞ、回答にご協力ください。

工大流就職支援

2016年3月卒業の学生から就職活動の開始時期が変更となった。これまで3年生の12月から企業の説明会が解禁となり、選考試験は4年生の4月からスタートしていたが、企業の説明会は3年生の3月、選考試験が4年生の8月と大幅な後倒しとなることが決まった。現3年生、大学院1年生の中には、就職活動まで少しゆとりができたと思っている学生がいるかもしれない。しかし、そこには大きな落とし穴がある。開始時期が遅くなった分、卒業までの就職活動期間が大幅に短くなり、超短期決戦を余儀なくされるという

就職 NEWS Vol.18

ことだ。また、4年生の後期からは卒業研究もピークを迎えるため、研究と就活の両立を強いられるのである。逆に、準備期間が長くなったというメリットもある。どうかそれまでに万全の準備を整えてもらいたい。就職部としては、決戦に備え、既に就職ガイダンスを完了し、個別の面談での支援に切り替えている。全員が準備万端でスタートラインに立てるよう、工大流就職支援の核である“Face to Face”の支援を展開していく。